

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公表番号】特表2002-540269(P2002-540269A)

【公表日】平成14年11月26日(2002.11.26)

【出願番号】特願2000-608674(P2000-608674)

【国際特許分類】

C 0 8 G 63/82 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 63/82

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 220 を上回る沸点を有する1種類以上の比較的非揮発性のジオールと1,4-シクロヘキサンジカルボン酸エステルとのエステル交換反応触媒の存在下で反応によってポリ(1,4-シクロヘキサンジカルボキシレート)を製造する方法であって、上記反応を、250 を上回る温度での滞留時間が40~120分となるように265 未満の範囲で温度を漸次昇温して実施することを含んでなる方法。

【請求項2】 前記比較的非揮発性のジオールが1,4-シクロヘキサンジメタノールを含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】 前記1,4-シクロヘキサンジカルボン酸エステルがC₁₋₆アルキルエステル、芳香族エステル又は置換芳香族エステルである、請求項2記載の方法。

【請求項4】 前記1,4-シクロヘキサンジカルボン酸エステルが1,4-シクロヘキサンジカルボン酸ジメチルである、請求項3記載の方法。

【請求項5】 1種類以上の比較的非揮発性のビス(ヒドロキシ末端)ポリエーテル又は1種類以上の比較的非揮発性のビス(アミン末端)ポリエーテルをさらに含む、請求項1記載の方法。

【請求項6】 1種類以上の熱安定剤をさらに含む、請求項5記載の方法。

【請求項7】 非ポリエーテル系ジアミン又はそのビスエステルアミド誘導体も存在する、請求項1記載の方法。

【請求項8】 前記反応の初期段階を、1,4-シクロヘキサンジカルボン酸エステルを基準にして3~25モル%の1種類以上のC₂₋₆脂肪族ジオールの存在下で実施する、請求項1記載の方法。

【請求項9】 エステル交換反応触媒としてのチタン酸エステルの存在下で1,4-シクロヘキサンジメタノールと1,4-シクロヘキサンジカルボン酸ジメチルとの反応によりポリ(1,4-シクロヘキサンジメチル-1,4-シクロヘキサンジカルボキシレート)を製造する方法であって、上記反応を、250 を上回る温度での滞留時間が40~120分となるように255 未満の範囲で温度を漸次昇温して実施することを含んでなる方法。

【請求項10】 前記反応の初期段階を、1,4-シクロヘキサンジカルボン酸エステルを基準にして3~25モル%の、エチレングリコール、ジエチレングリコール又は1,4-ブタンジオールからなる群から選択されるジオールの存在下で実施する、請求項9記載の方法。

